

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70106	
事業名	消防施設感染防止対策費						
評価担当課	所 属	消)総務部 施設管理課			電話番号	011-215-2030	
施策名	強じんな消防・救急体制が構築され、市民の安全・安心が守られて						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	新型コロナウイルス感染症の流行により、他消防本部では職場でのクラスターが発生し、業務の継続が困難となり、災害対応に大きな支障をきたした事例が発生した。消防施設は災害対応のため24時間勤務であり、職員同士の接触時間が長く、食事や仮眠をとる必要もあり、感染リスクが高い状況にある。一方で、施設のスペースや構造、設備の仕様等の制限により、ハード面の十分な感染症対策が実施できていない。 消防庁より、令和3年8月19日付け 消防消第343号「感染症に備えた消防本部等の業務継続のための施設及び設備の整備について」が通知され、施設の感染症対策を進めるよう助言があった。					
	事業内容(何を実施し)	消防施設は災害対応のため24時間勤務であり、職員同士の接触時間が長く、感染症が蔓延するリスクが高い状況にある。マスクの装着、手指消毒、積極的な換気、パーテーションの設置、執務場所の分散、消毒の徹底等、現時点で実施可能な感染症対策を徹底してきたが、適切に業務を継続するためには感染予防に万全を期す必要があり、スペースの拡充や設備の刷新など施設及び設備等の根本的な改修が必要である。 消防署所の仮眠室を改修することで仮眠時における感染リスクの低減を図り、トイレ手洗いの自動水栓化による感染防止対策のための施設及び設備の整備を行う。 ＜令和5年度の取組内容＞ 令和6年度に行う予定の3施設仮眠室個室化工事の設計を行った。 11施設に個室ブースを設置した。 11施設の仮眠室に扉を設置した。 1施設のトイレ手洗いを自動水栓化した。					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	新型コロナウイルス感染症の流行で、業務継続が困難となった消防本部が生じるなど感染症流行時における消防力の維持・確保が課題となった。消防施設について、感染防止の観点で整備し、感染症流行時にも確実に消防・救急体制を確保できる状態にする。					
	他都市の状況	他都市消防本部においても、仮眠室の個室化等の感染症に備えた施設の整備等を行っており、また、民間等においても施設の感染症対策に向けた各種取組みが実施されている。					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外					
	令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円		正規職員業務量	0 人工
令和5年度予算額	236,000 千円	うち特定財源	236,000 千円		正規職員業務量	1 人工	
令和5年度決算額	122,987 千円	うち特定財源	122,000 千円		正規職員業務量	1 人工	
令和6年度予算額	284,000 千円	うち特定財源	243,000 千円		正規職員業務量	1 人工	
指標	アウトプット活動指標1	感染防止対策整備件数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		0	23	23	11	7	4
	↓						
	アウトカム成果指標1	消防施設で発生した感染症によるクラスターが発生した件数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		0	0	0	0	0	0
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方						
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	予定していた3施設仮眠室個室化工事が入札不調により今年度の実施が不可となったことから計画変更を検討中						
来年度以降の方向性	事業の進捗を考慮のうえ、事業の計画変更を検討中						